

高校生の音楽 2

27

教芸

音Ⅱ

702

令和5年度
高等学校用教科書 音楽Ⅱ
(令和5教 内容解説資料)



『高校生の音楽』は、「人生を豊かにする教科書」であることをコンセプトに編集しています。声を合わせて歌ったり、よりよい演奏を工夫したり、一つの作品を深く味わったり、さまざまな音楽のあり方に触れたりして、音楽の多様な価値を見出すことで、使った人の人生が少しでも豊かになるような教科書を目指しています。

『高校生の音楽2』の特徴 1



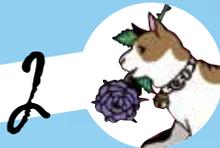
音楽の魅力に迫る 「音楽って何だろう？」

音楽そのものの魅力や不思議にさまざまな視点から迫るシリーズです。「音楽」と「料理」を比較して多様な音楽に触れることの意義を考える口絵に始まり、メロディーやリズム、コード進行などに注目しながらポピュラー音楽を味わうページ、音楽作品から当時の社会のあり方を読み取るページ、音律や音階を手がかりにさまざまな音楽の響きに注目するページを掲載しています。



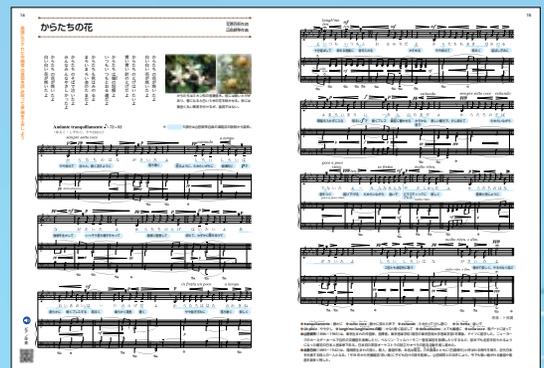
(教科書 p.2-3)

『高校生の音楽2』の特徴 2



オーソドックスな 定番曲を多数掲載

歌曲や合唱曲はもちろん、ポピュラー音楽、西洋音楽、日本音楽、世界の諸民族の音楽など、さまざまなジャンルの音楽から教材性の高い定番曲を厳選して掲載しています。

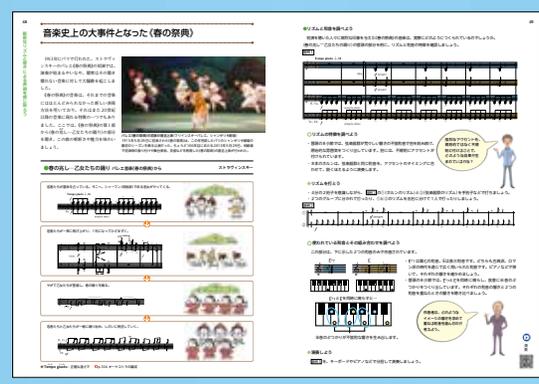


(教科書 p.14-15)

『高校生の音楽2』の**特徴** 3 

一步踏み込んだ鑑賞のアプローチ

鑑賞教材は、作品紹介だけにとどまらず、作品をより深く味わうためのさまざまな仕掛けをちりばめています。西洋音楽はもちろん、日本音楽や世界の諸民族の音楽の各教材にも、それぞれに適した鑑賞のアプローチを提案しています。

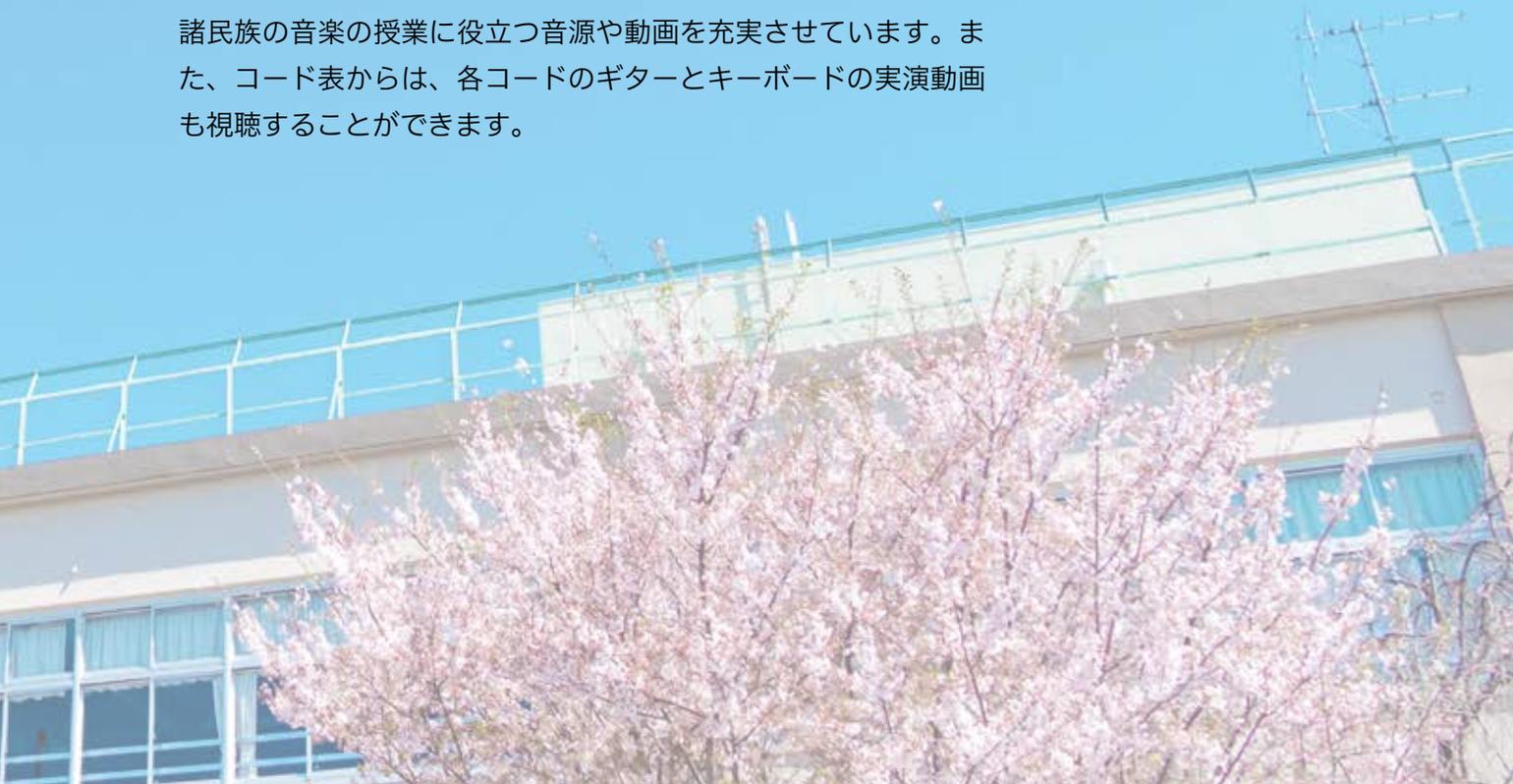


(教科書 p.48-49)

『高校生の音楽2』の**特徴** 4 

QRコンテンツの充実

歌唱曲の伴奏や原語歌詞による発音をはじめ、日本音楽や世界の諸民族の音楽の授業に役立つ音源や動画を充実させています。また、コード表からは、各コードのギターとキーボードの実演動画も視聴することができます。



音楽って何だろう？

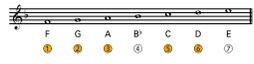
『高校生の音楽1』に引き続き、音楽そのものの魅力や不思議にさまざまな視点で迫るシリーズです。

1 ドクター・キャピタルによるポピュラー音楽探索 (教科書 p.34-35)

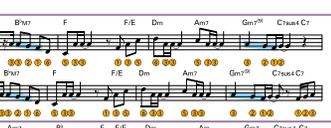
アメリカの音楽学者で、日本のポピュラー音楽にも精通しているドクター・キャピタルと一緒に、教科書に掲載されている日本のポピュラー音楽の楽曲の魅力に深く迫ります。

- 糸(中島みゆき)→メロディーに注目して…
- 何度でも (DREAMS COME TRUE)→リズムに注目して…
- ばらの花(くるり)→コード進行に注目して…

ポイント 1 この曲のキーは、FGAB^bCDEの長音階で構成されるF(へ長調)です。メロディーには、この音階以外の音は一度も出てきません。○p.107 長音階と短音階

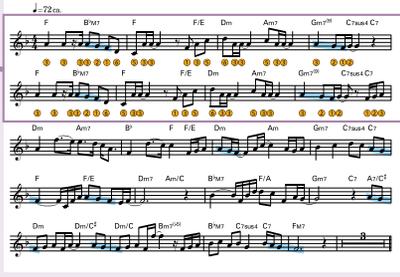


ポイント 2 また、冒頭の8小節では、この音階のうち●●●●●の音だけが使われています。この5音は「ペンタトニックスケール」と呼ばれ、世界各地の民謡などにみられる非常に親しみやすい音階です。



ポイント 3 メロディーのほとんどがコードの構成音でつくられ、メロディーとコードがよく調和しています。

●コード表(p.110)と左の楽譜を照らし合わせ、メロディーとコードの関係を確認しよう。



ポイント 4 何度も登場するのが、右の●●●●のパターンです。音階を特徴付ける●●から、最も安定した●へと滑らかに下りていきます。



ドクター・キャピタルのコメント

包み込みのような安心感のある曲調に加え、普遍的に親しみやすいメロディー、だけと最後まで聴かせない、その輪廻はメロディーの動きにあります。

例えば、冒頭のフレーズは美しく滑らかにペンタトニックスケールを下りていきますが、最後は急に高い音にとびます。この意外な展開は聴いている人の集中力をリフレッシュする効果があります。全体を通して、この滑らかな進行と意外な展開がうまく組み合い、まるでステップやジャンプを美しくちりばめたフィギュアスケートのよつに、最初から最後まで人を引き付ける魅力的なメロディーに仕上がっています。

(教科書 p.34)

ドクター・キャピタル

アメリカの音楽学者でミュージシャン。2014年から南カリフォルニア大学、2018年から北テキサス大学の教壇に立つ。日本のポピュラー音楽に精通し、Youtubeでさまざまな楽曲の優れた点を音楽理論の視点から分かりやすく解説する動画「Dr. Capital's JPOP講座!」を配信している。



【ポイント】では、楽曲の音楽的特徴を分かりやすく説明しています。

《糸》では、冒頭のメロディーが非常に親しみやすいペンタトニックスケール(五音音階)でつくられていること、全曲を通してメロディーのほとんどがコードの構成音でつくられていることなどを示しています。

【ポイント】で確認した音楽的特徴がどのような効果を生んでいるのか、分かりやすく説明しています。

2 社会の大きな変革と音楽家～モーツァルトの場合～ →本書 p.6

3 音律 (教科書 p.52-53)

ピュタゴラス音律

紀元前6世紀に活躍した古代ギリシャの哲学者ピュタゴラスは、2つの音がオクターブ関係(完全8度)にある場合、それぞれの弦の長さが2:1という単純な比で表されることを発見しました。また、完全5度の場合は3:2で表されます。この原理を確認し、「ドレミファソラシ」を算出しましょう。

●ギターの第6弦でこの原理を確認しよう。

① 開放弦のミを鳴らし、ナットからブリッジまでの弦の長さAを測る。

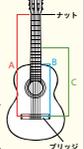
② フレットを押さえずに1オクターヴ上のミを探し、そのフレットからブリッジまでの長さBを測る。

③ フレットを押さえずに開放弦のミの完全5度上のシを探し、そのフレットからブリッジまでの長さCを測る。

④ それぞれの弦の長さの比を求める。

④ オクターブの関係 A : B → 2 : 1

④ 完全5度の関係 A : C → 3 : 2



(教科書 p.52)

西洋音楽の基礎となったピュタゴラス音律を理解し、それに基づいて「ドレミファソラシ」を導き出します。また、中国の三分損益法、純正律と平均律の違いについても説明しています。

実際にギターの弦で音を出しながらピュタゴラス音律を学習することができます。

4 音階 (教科書 p.68-69)

音階の抽出に挑戦

《赤とんぼ》 山崎洋作曲



●《赤とんぼ》の旋律に使われている音を、音高の低い順に並べよう。



(教科書 p.69)

西洋音楽、ガムラン音楽、アラブ古典音楽、インド古典音楽の音階や旋法を比較して、それぞれの特徴を体感します。

《赤とんぼ》の旋律から音階を抽出する活動を通して、音階の考え方を学習することができます。

表現

芸術歌曲、オペラのアリア、ポピュラーソング、ミュージカルや映画のナンバー、合唱曲など、長い間親しまれてきた楽曲を豊富に掲載しています。

歌唱

芸術歌曲、オペラのアリア

- 日本語
 - ・からたちの花(教科書 p.14)
 - ・浜千鳥(教科書 p.70)
- イタリア語
 - ・うつろの心(教科書 p.16)
 - ・カタリ カタリ(教科書 p.72)
 - ・優雅な月よ(教科書 p.74)
 - ・愛の喜び(教科書 p.76)
- ドイツ語
 - ・君はまるで花のよう(教科書 p.18)
 - ・おれは鳥刺し(教科書 p.20)
 - ・セレナード(教科書 p.80)
 - ・君を愛す(教科書 p.84)
- フランス語
 - ・夢のあとに(教科書 p.86)

ポピュラーソング、ミュージカルや映画のナンバー

- 日本語
 - ・糸(教科書 p.10)
 - ・何度でも(教科書 p.12)
- 英語
 - ・Born This Way(教科書 p.8)
 - ・Shall We Dance?【同二】(教科書 p.98)
 - ・雨にぬれても【同二】(教科書 p.99)
- フランス語
 - ・ロウ人形、音人形(教科書 p.22)

合唱曲

- 日本語
 - ・夏は来ぬ【同三】(教科書 p.90)
 - ・流浪の民【混四】(教科書 p.92)
 - ・いざ起て戦人よ【男四】(教科書 p.95)
- ラテン語
 - ・アヴェ ヴェルム コルプス【混四】(教科書 p.96)

英語以外の外国語曲には「原語歌詞とその意味」を掲載しています。

原語歌詞とその意味

Nel	cor	più	non	mi	sento	brillar	la	gioventù;
~の中に	心	もはや	~しない	私には	感じる	輝く	【定冠詞】	若さ

(もう私は心に感じられない。若さが死に輝くのを。)

(教科書 p.17)

器楽

手拍子

- ・クラッピング カルテット 第2番(教科書 p.24)

ギター

- ・Stand By Me(教科書 p.28)
- ・Blackbird(教科書 p.100)

アンサンブル(歌、ピアノ、ギター×2、打楽器)

- ・ばらの花(教科書 p.30)

リコーダー

- ・ Rond(教科書 p.102)

篠笛

- ・鼓動の舞(教科書 p.26)
- ・秋の宵(教科書 p.27)

創作 (教科書 p.36-39)

場面のイメージに合ったBGMをつくる活動を通して、音楽的な感性を働かせながら、創作に取り組むことができます。

Step 3 音を連ねたり重ねたりしたときの響きに気をつけながら、「サウンドピース」を反復させたり変化させたりしてBGMをつくる。

例 「サウンドピース」を重ねるタイミングを変化させて、疲労感が強くなっていくイメージを表現しよう。

A 愛する友は、おまえを抱いたばかりに、……

拍のない自由なリズムで

(教科書 p.38)

五線や音符を使わずに取り組める創作活動も充実しています。

主な新規掲載の表現教材

・Born This Way【歌唱】(教科書 p.8)

独特のパフォーマンスやさまざまな慈善活動を通して人々を応援し続けるレディー・ガガの代表曲です。多様性を幅広く受け入れ、自分が自分であることを全肯定するメッセージは、さまざまな立場の人々を勇気付けました。音源にのせて楽しく歌うだけで、生きる力が湧いてきます。

・ばらの花【器楽】(教科書 p.30)

多くのミュージシャンに影響を与えている「くるり」の代表曲です。シンプルで繊細なサウンドと美しく切ないメロディーが、しみじみと心に響きます。編成は、歌、ピアノ、ギター×2、打楽器で、どのパートも取り組みやすい難易度で編曲しています。

・ロウ人形、音人形【歌唱】(教科書 p.22)

セルジュ・ゲンスブールの作詞・作曲によるフランスのポピュラーソングです。シンプルで覚えやすいメロディーと韻を踏んだ歌詞が非常に印象的です。比較的単純なコードで進行していくので伴奏に挑戦することもできます。

・Blackbird【器楽】(教科書 p.100)

ギター1本と歌だけで聴かせるビートルズの楽曲です。作曲者は「人権問題で苦しむ黒人女性たちを励ますために書いた」と述べています。ギターは、少ない音数でさまざまな表情のハーモニーを響かせており、練習しながら曲のよさを味わうことができます。

鑑賞：西洋音楽

西洋音楽の鑑賞では、作品紹介だけでなくとどまらず、それぞれの作品をより深く味わうためのさまざまなアプローチを提案しています。

社会の大きな変革と音楽家～モーツァルト三大オペラ～ (教科書 p.44-47)

1789年のフランス革命をきっかけにヨーロッパの社会は大きく変わっていきました。その前後を生きたモーツァルトの3つのオペラ作品の鑑賞を通して、音楽作品とその文化的・歴史的背景との関わりを理解します。

作品名	フィガロの結婚 (教科書 p.44)	ドン・ジョヴァンニ (教科書 p.45)	魔笛 (教科書 p.46)
初演	1786年	1787年	1791年
言語	イタリア語(宮廷の言葉)		ドイツ語(庶民の言葉)
概要	庶民が貴族を懲らしめる 貴族批判 の物語	大貴族が地獄に落ちる 貴族社会の崩壊 を描いた物語	光の世界が闇の世界に打ち勝つ = 市民社会が貴族社会に打ち勝つ 物語

46

●オペラ 魔笛 Die Zauberflöte モーツァルト

●主な登場人物

●あらすじ

伝説の時代の古代エジプト。大蛇に追われて失神した王子タミーノは、夜の女王の3人の侍女に助けられる。侍女たちはタミーノに、高貴のザラストロにさらわれた夜女王の娘パミーナの消息を見せ、再婚に目ざめたタミーノは、パミーナの救出に向かう。

だがザラストロがパミーナをさらった目的は、夜の女王が支配する「闇の世界」からパミーナを救い出し、彼が指導する「光の世界」に導くためだった。ザラストロの意図を理解したタミーノは、鳥飼のババゲーノと一緒にザラストロの神殿の試練を受けることになる。立派に試練をくぐり取ったタミーノはパミーノと結婚し、試練には落ちたババゲーノも、ババゲーノという恋人を得る。タミーノとパミーナは、ザラストロの保護者として光の世界に迎えられ、一同がザラストロと光の世界をたえまなく築く。

●第1幕から夜の女王の aria (恐れなくともよい！)

Allegro moderato
夜女王の aria

夜女王がタミーノに、娘パミーナの救出を命じる劇的な aria。声は自由自在に響き、そこから生まれる音の連続で聴く者を魅了するオペラ歌手の技量を堪能しましょう。

●第2幕からババゲーノとババゲーナの二重唱 (ひびひ)

ババゲーノとババゲーノが結婚し、家族をつくる喜びを歌う二重唱。ひびひと呼び合う音響の掛け合いが、形を変えて何度も繰り返される楽しい曲です。ユーモラスで幸福にあふれた二重唱を堪能しましょう。

●庶民が楽しんだメルヘンオペラ

『魔笛』は、庶民向けのメルヘンオペラである。タミーノの童とババゲーノの童という魔法の要素が響くと、悪悪な人間は善人となり動物たちも語りだす。またタミーノはパミーナを救出し、ババゲーノはババゲーノを求めることで、人間的に成長していく。ここには人間を個人として尊重し、道徳的倫理を理想とする音楽主義の思想が表れている。

●メルヘンオペラ：メルヘン(ドイツ語のおとぎ話)に基づくオペラ。ドイツ語のオペラでしほり取り上げられ、人気があつた。魔女の魔法など想像として扱われることが多い。

●注(脚注)は、1791年に発表されたモーツァルトのオペラ『魔笛』(全2巻)、5回上演。俳優、歌手で構成されたアマチュア・オペラ・カンパニー(Op.20)による。シカゴ・オペラが実現するワーグナー劇場でモーツァルトの自作オペラによって上演された。楽譜編纂でなく、楽譜が取り入れる劇場のためにつくられた作品で好評を得たが、同年12月にモーツァルトは急死を遂げる。

●モーツァルト Op.47

(教科書 p.46)

貴族社会から市民社会への変化は、音楽家の生き方そのものを変えてしまうほどの出来事でした。ここでは、モーツァルトの人生をたどりながら、彼がいかに社会の情勢に振り回されていたかを解説しています。

モーツァルトの生き方と、その少し後に活躍したベートーヴェンの生き方との比較を通して、各作品をより深く鑑賞することができます。

主な登場人物とその関係性について視覚的に理解することができます。

各作品を理解するための必要最低限のあらすじを掲載しています。

各作品のよさを味わうことができる聴きどころを紹介しています。

各作品とその文化的・歴史的背景との関わりを理解することができます。

47

音楽って何だろう？ ② 社会の大きな変革と音楽家～モーツァルトの場合～

18世紀までのヨーロッパの音楽は、国家や教会などの権威と強く結び付いていた。したがって、音楽家が生活を支えるためには、音楽が必須とされた宮廷や教会に職を得る必要があり、「神童」ともてはやされたモーツァルトも Wolfgang Amadeus Mozart も例外ではなかった。

モーツァルトの生地、オーストリアのザルツブルクは、大司教が統治する宗教的都市であり、父レオポルトはここの宮廷楽団のヴァイオリン奏者になって、やがて副楽長まで出た。モーツァルト自身も、13歳のときに同楽団の兼務のコンサートマスターとなり、16歳のときに給料が支払われるようになった。その後、モーツァルトはよりよい経験を求めて、他のヨーロッパの諸都市へ演奏旅行に出かける。しかし、転機はここから失われ、やむなくザルツブルクの宮廷オルガニストに就任した。

ザルツブルクのモーツァルト・オペラハウス
演奏を披露する6歳のモーツァルト

自分の頼りまれる才能を自覚していたモーツァルトは、その才能が生かせないザルツブルクのような小さな宮廷にうんざりしていた。そして1781年、25歳のとき、ついに父の反対を押し切って宮廷を辞め、ウィーンで「フリーランス」の音楽家としての生活を始める。その頃のウィーンは、皇帝ヨーゼフ2世が宗教寛容や専横撤廃などの進歩的政策を次々に打ち出し、改革の空気があふれていた。ウィーンでの最初の数年間は、モーツァルトの人生の中で最も輝かしい時期であった。貴族や裕福な市民たちに事前に予約を奪うコンサートはいつも満席で、高貴の女性を対象にしたヴァリエーションの演奏は人気を博した。1784年にモーツァルトが父に送った手紙には、「日々驚く多量の3つのコンサートにはすでに100人の予約があり(中期)年中はピアノを教え、夕方にはほとんど毎日貴族の家に演奏している」と記されている。また、オペラの成功もあり、1782年にヨーゼフ2世の依頼でオペラ『後宮からの逃走』を上演した。そして、1786年にはオペラ『フィガロの結婚』(Op.44)、1787年にはオペラ『ドン・ジョヴァンニ』(Op.45)を上演した。

しかし、ヨーゼフ2世の改革が突然撤回されてウィーンに保守的な空気が漂うようになったと同時に、モーツァルトの人気も減退していく。1789年のモーツァルトは次のコンサートは予約が1人しかいない」と船中に帰郷をばたいている。そして1791年、オペラ『魔笛』(Op.46)を完成させ、同年12月に(レウエム)を未完のまま残し、35年という短い生涯を終える。

彼の死と前後して、ヨーロッパの社会は急激に変化していく。17世紀に確立された絶対王政が崩れ、キリスト教の精神に代わって人間の理性を重視する啓蒙主義が主流となっていき、そしてついに1789年、フランス革命が起こった。国王や貴族に権力が集中する古い社会を打ち崩し、自由で平等な個人、すなわち市民が主役になる社会を実現するために民衆が立ち上がったのである。この社会の大きな変革はさまざまな形でヨーロッパ中に波及している。それまで世界中に大きな影響を与えた。このような社会変革の背景は、音楽家にも及んだ。作曲家ベートーヴェン Ludwig van Beethoven は、ハイデルベルグでモーツァルトの音楽を聴いて、早くから独自の決意を切り取った。貴族や教会のためというよりも、自分自身の考えや思いを表現するために創作活動を行ったのだ。この背景には、フランス革命による身分制度の崩壊と市民勢力の高まりがあった。また、お金を払えば誰でも入場できる公開コンサートが定着し始めたのもこの時代であった。

ベートーヴェン (1770-1827)

ヴァン・ハウスの
1781年にドイツ・ライプツィヒにオープンしたコンサートホールで、宮廷楽団の演奏も行った。モーツァルトの音楽も演奏された。

(教科書 p.47)

時代を超えて鳴り響く《怒りの日》(教科書 p.40-43)

西洋音楽の作品では、「最後の審判」の様子が描かれたグレゴリオ聖歌《怒りの日》の旋律がしばしば引用されてきました。ここでは、グレゴリオ聖歌《怒りの日》を含めた7つの作品の鑑賞を通して、それぞれの作品のよさを味わいます。

時代を超えて鳴り響く《怒りの日》

聖歌の音楽を聴くことは、その時代の文化や、そしてその時代の音楽のありかたを知る手がかりとなります。ここでは、聖歌の音楽を通して、その時代の文化や、そしてその時代の音楽のありかたを知る手がかりとなります。

●怒りの日 (Gregorian Chant)

この曲は、聖歌の音楽として知られており、その旋律は、その時代の文化や、そしてその時代の音楽のありかたを知る手がかりとなります。

●聖歌の音楽 (Gregorian Chant)

この曲は、聖歌の音楽として知られており、その旋律は、その時代の文化や、そしてその時代の音楽のありかたを知る手がかりとなります。

●聖歌の音楽 (Gregorian Chant)

この曲は、聖歌の音楽として知られており、その旋律は、その時代の文化や、そしてその時代の音楽のありかたを知る手がかりとなります。

(教科書 p.40-41)

QR音源を参考に《怒りの日》を実際に歌ってその雰囲気を感じ取り、各作品を鑑賞する際の手がかりとすることができます。

《怒りの日》がそれぞれの作品でどのように引用されたのか、譜例で分かりやすく示しています。

●聖歌の音楽 (Gregorian Chant)

この曲は、聖歌の音楽として知られており、その旋律は、その時代の文化や、そしてその時代の音楽のありかたを知る手がかりとなります。

●聖歌の音楽 (Gregorian Chant)

この曲は、聖歌の音楽として知られており、その旋律は、その時代の文化や、そしてその時代の音楽のありかたを知る手がかりとなります。

●聖歌の音楽 (Gregorian Chant)

この曲は、聖歌の音楽として知られており、その旋律は、その時代の文化や、そしてその時代の音楽のありかたを知る手がかりとなります。

●聖歌の音楽 (Gregorian Chant)

この曲は、聖歌の音楽として知られており、その旋律は、その時代の文化や、そしてその時代の音楽のありかたを知る手がかりとなります。

(教科書 p.42-43)

音楽史上の大事件となった《春の祭典》(教科書 p.48-51)

ストラヴィンスキーのバレエ《春の祭典》の初演では、その聴きなれない音楽に対して聴衆が大騒動を起こしました。ここでは、実際に音を鳴らして、その斬新なリズムや和音の特徴を確認しながら、作品の魅力を味わいます。

和音に注目して…

E7 E

E7とEを同時に鳴らすと…

半音のぶつかりが不協和な響きを生み出します。

(教科書 p.49)

リズムに注目して…

・4分の2拍子を意識しながら、**譜例2**の①(ホルンのリズム)と②(弦楽器群のリズム)を手拍子などで打ちましょう。

・2つのグループに分かれて打ったり、①と②のリズムを左右に分けて1人で打ったりしましょう。

譜例2

① *mf*

② *sf*

(教科書 p.49)

E7とEの和音をそれぞれ鳴らした後、2つの和音を同時に鳴らし、その独特な響きを体感します。

ホルンのリズムと弦楽器群のリズムを手拍子などで打ち、不規則なアクセントがもたらす効果を体感します。

当時の反応は？

「……リズムがすばらしい活気と驚くべき多様性を示しているとしても、旋律線はいかにも頼りない。和音にも特別な情感はなく、楽想の発展や配置にも見るべきところがない。要するに、この芸術作品の根本はひどく貧弱で、全く原始的で単純である。だからこそ、その色あせた姿を際立たせたものに見せるために、乱暴で刺激的な外見の細工を施しているのだ」

「ルフィガロ」紙 1913年5月31日付

「……イーゴリ・ストラヴィンスキー氏の尋常ならざる音楽については、確信がもてないかもしれないが、肯定すべきであろう。確かに音楽は、不協和音を使用する限度をはるかに超えていた。ひたすらなる誇張への明らかな偏愛がみられ、ときには極めて醜悪である。少なくとも我々1913年の人間には、そう感じられる。[中略]きしんだ響きの執拗な連続の中には、注目すべき旋律的輪郭が浮かび上がり、魅力的なリズムの生命が震え、色鮮やかな和音の花々が咲き誇っているというに、我々にはそれが理解できないのだ」

「ルヴュ フランセズド ミュジック」誌 1913年6・7月号

当時の新聞批評から、聴衆の反応をうかがい知ることができます。

(教科書 p.50)

鑑賞：日本音楽

日本音楽の鑑賞では、日本の伝統音楽の大まかな流れと共通する特徴を理解するページ他、平家、能、地歌、義太夫節の鑑賞ページを収録しました。それぞれに、実際に声を出して体験するコーナーがあり、実感を伴った学習ができるよう配慮しています。

日本の伝統音楽



(教科書 p.6)

今回扱った平家、能、地歌、義太夫節のそれぞれの魅力を伝える絵や写真を口絵に掲載しました。

日本の伝統音楽の主な種目の成立時期を大まかに示し、それぞれの種目について簡単に説明しています。

日本の伝統音楽

日本には、さまざまな伝統音楽が今も伝えられています。奈良時代や平安時代から続く雅楽や和歌、鎌倉時代に誕生した音楽、室町時代に完成された能、江戸時代に流行した室内楽の三拍子、歌舞伎や文楽といった新種の音楽などがあります。またアフリカや中国、そして西洋の音楽も取り入れられ、日本の音楽文化をさらに豊かにしています。

日本の伝統音楽の成立時期

時代	種目	特徴
奈良時代	雅楽	中国や朝鮮半島から伝来した音楽。和歌や舞踏の伴奏として演奏され、朝廷の儀式などで演奏された。
平安時代	和歌	日本生まれの音楽。短歌や長歌、和歌集としてまとめられ、貴族の間で流行した。
鎌倉時代	能	中国や朝鮮半島から伝来した音楽と、日本生まれの音楽が融合した音楽。物語を題材にした音楽で、能楽師が演じる。
室町時代	三拍子	中国や朝鮮半島から伝来した音楽。室内で演奏された音楽で、三拍子のリズムが特徴的。
江戸時代	歌舞伎	中国や朝鮮半島から伝来した音楽と、日本生まれの音楽が融合した音楽。物語を題材にした音楽で、歌舞伎師が演じる。
明治時代	文楽	中国や朝鮮半島から伝来した音楽と、日本生まれの音楽が融合した音楽。物語を題材にした音楽で、文楽師が演じる。

日本音楽の特徴

- **多様な音楽が併存する**
古くから、成立時期の異なるさまざまな音楽が今も日本各地で演奏されています。これは、長い歴史の中で、新しい音楽を生み出すとともに、古い音楽も大切に守られてきたからです。また、アフリカや中国、西洋の音楽も取り入れられ、日本の音楽文化をさらに豊かにしています。
- **外来の音楽を独自に発展させる**
日本には、中国や朝鮮半島から伝来した音楽、アフリカや中国、西洋の音楽も取り入れられ、独自の音楽文化を形成してきました。例えば、能や歌舞伎は、中国や朝鮮半島から伝来した音楽と、日本生まれの音楽が融合した音楽です。
- **唱歌で伝承する**
日本には、さまざまな唱歌があります。民謡や唄、歌謡など、多くの人々が口伝で伝承しています。また、ラジオやテレビを通じて、多くの人々に知られるようになりました。
- **ことばと音楽が深く関わる**
日本には、さまざまな音楽があります。民謡や唄、歌謡など、多くの人々が口伝で伝承しています。また、ラジオやテレビを通じて、多くの人々に知られるようになりました。

(教科書 p.54-55)

文学作品として知られている『平家物語』が実は音楽作品であることなど、平家の歴史や特徴について説明しています。

平家

平家一族の興隆と没落を描いた『平家物語』は、源平の合戦で滅んだ平家一族の興隆と没落の物語を、源平の合戦の歴史的背景から描き出しています。平家一族の興隆と没落の物語を、源平の合戦の歴史的背景から描き出しています。

平家の歴史

平家一族は、平安時代中期に興隆し、源平の合戦で没落しました。平家一族の興隆と没落の物語を、源平の合戦の歴史的背景から描き出しています。

平家の音楽

平家一族は、平安時代中期に興隆し、源平の合戦で没落しました。平家一族の興隆と没落の物語を、源平の合戦の歴史的背景から描き出しています。

日本の伝統音楽の特徴を以下の4つのテーマで説明しています。

- 1 多様な音楽が併存する
- 2 外来の音楽を独自に発展させる
- 3 唱歌で伝承する
- 4 ことばと音楽が深く関わる

『平家物語』の冒頭「祇園精舎の鐘の声」がどのような音楽だったのか、QR動画の演奏を参考にし、実感を伴いながら学習することができます。

他にも、能《羽衣》、地歌《黒髪》《越後獅子》、義太夫節《一谷嫩軍記》《組討の段》を同様に掲載しています。

日本各地の伝統音楽

日本各地の伝統音楽

日本各地には、さまざまな伝統音楽があります。今回は、風盆、花巻まつり、三社祭、那智の田楽を紹介しています。

風盆・富山県

富山県は、風盆の盆踊りがあります。風盆の盆踊りは、富山県各地で行われます。風盆の盆踊りは、富山県各地で行われます。

花巻まつり・岩手県

岩手県は、花巻まつりがあります。花巻まつりは、岩手県各地で行われます。花巻まつりは、岩手県各地で行われます。

三社祭・東京都

東京都は、三社祭があります。三社祭は、東京都各地で行われます。三社祭は、東京都各地で行われます。

那智の田楽・和歌山県

和歌山県は、那智の田楽があります。那智の田楽は、和歌山県各地で行われます。那智の田楽は、和歌山県各地で行われます。

今回は、日本各地の伝統芸能の中から、以下の4つの芸能を取り上げています。

- 風の盆(富山県)
- 花巻まつり(岩手県)
- 三社祭(東京都)
- 那智の田楽(和歌山県)

音が実際に聞こえてきそうな写真とともに、各芸能の由来、音楽的特徴を説明しています。

(教科書 p.60-61)

QRコンテンツ

『高校生の音楽1』に引き続き、充実した学習をサポートするさまざまなQRコンテンツを用意しました。歌唱曲の伴奏や主な外国語曲の原語歌詞による発音をはじめ、日本音楽や世界の諸民族の音楽の授業に役立つ音源や動画を充実させています。

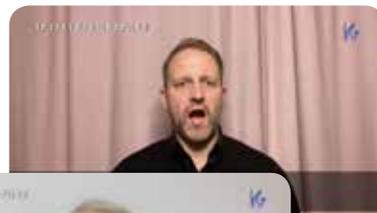
QRコンテンツリスト

p.3	音楽って何だろう？		エッセイ「音楽って何だろう？」
p.8	Born This Way		ピアノ伴奏
p.10	糸		ピアノ伴奏
p.12	何度でも		オーケストラ伴奏
p.14	からたちの花		ピアノ伴奏
p.16	うつろの心	 	原語歌詞発音、ピアノ伴奏
p.18	君はまるで花のよう	 	原語歌詞発音、ピアノ伴奏
p.20	おれは鳥刺し	 	原語歌詞発音、ピアノ伴奏
p.22	ロウ人形、音人形	 	原語歌詞発音、ピアノ伴奏
p.26	鼓動の舞		篠笛の唱歌・演奏
p.28	Stand By Me		ギターの奏法の解説
p.30	ばらの花		演奏サポート動画
p.40	時代を超えて鳴り響く 《怒りの日》		グレゴリオ聖歌《怒りの日》模範演奏
p.49	音楽史上の大事件となった 《春の祭典》		《春の兆しー乙女たちの踊り》冒頭
p.52	音楽って何だろう？③音律		ピュタグラス音律について
p.55	平家	 	参考楽譜、模範演奏
p.56	能	 	参考楽譜、模範演奏
p.57	地歌	 	参考楽譜、模範演奏
p.58	義太夫節	 	参考楽譜、模範演奏
p.63	『ラーマ物語』を題材とした芸能		ワヤンクリの上演
p.64	音楽旅行記「世界をめくれ！ アフリカ音楽のDNA～カメルーン～」	 	音楽旅行記のつくり方、参考動画
p.68	音楽って何だろう？④音階		各音階を使った音楽の演奏
p.70	浜千鳥		ピアノ伴奏
p.72	カタリカタリ		ピアノ伴奏
p.74	優雅な月よ		ピアノ伴奏
p.76	愛の喜び		ピアノ伴奏
p.80	セレナード		ピアノ伴奏
p.84	君を愛す		ピアノ伴奏
p.86	夢のあとに		ピアノ伴奏
p.90	夏は来ぬ		ピアノ伴奏
p.92	流浪の民		ピアノ伴奏
p.96	アヴェ ヴェルム コルプス		ピアノ伴奏
p.98	Shall We Dance?		オーケストラ伴奏
p.99	雨にぬれても		オーケストラ伴奏
p.110	コード表		ギターとキーボードによるコードの実演
p.112	音楽に関する知的財産権＝著作権		JASRAC ホームページ「音楽著作権とは」、ケーススタディ

 …テキスト  …音声  …画像  …動画

歌唱

ほぼ全ての歌唱教材の伴奏を視聴することができます。パート練習や試験の際の伴奏としても活用することができます。

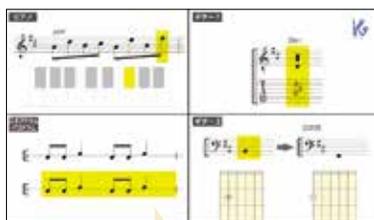


主な外国語曲の原語歌詞による発音を視聴することができます。口の形や舌の位置などに注目して、各言語特有の発音を練習することができます。

器楽



篠笛の模範演奏を視聴することができます。正面と斜め後ろの角度から、指や口の当て方を確認することができます。



《ばらの花》の演奏サポート動画です。初めて楽器に触れる生徒でも取り組みやすいように、演奏部分を分かりやすく示しています。

鑑賞



バレエ《春の祭典》の斬新なリズムと和音を体感するための動画です。聴くだけでなく、実際に演奏してみることで学習をさらに意義深いものにすることができます。

ガムランの演奏とともに上演される、インドネシアの影絵人形芝居「ワヤンクリ」の動画です。スクリーンの後ろから見た様子を視聴することができます。



日本の伝統音楽では、各種目の超一流の演奏を視聴することができます。稽古の現場で実際に行われている、師匠から弟子への口伝えによる音楽伝承を疑似体験することができます。また、各種目の音楽を比較しながら鑑賞することもできます。

資料

コード表からは、各コードのギターとキーボードの実演動画を視聴することができます。右手、左手の使い方を動画で確認しながら、好きな曲のコード伴奏を練習することができます。



こちらのQRコードからQRコンテンツを視聴することができます。



年間指導計画例

月	配当 時間	題材名	題材のねらい	学習目標	主な教材	
4 5 6 7	4	歌詞に込められた思いを感じ取り、ふさわしい表現を工夫しよう	メッセージ性のある歌詞の内容を理解し、既習の発声の基本を生かして、曲にふさわしい歌い方や個性豊かな歌唱表現を創意工夫する	・曲想と歌詞の内容を理解し、曲にふさわしい発声や言葉の発音の技能を身に付ける ・個性豊かな歌唱表現を創意工夫する ・メッセージ性のある歌詞を歌うことを楽しみながら主体的に取り組む	Born This Way 糸 音楽に関する知的財産権 著者権	
	4	楽譜に示された作曲者の意図を読み取って表現を工夫しよう	作曲者による詳細な演奏上の指示の意図を理解し、歌詞の内容にふさわしい歌い方や個性豊かな歌唱表現を創意工夫する	・曲想と歌詞の内容を理解し、楽譜に示された作曲者の意図を歌唱に反映し、日本語の特性を考慮して曲にふさわしい発声の技能を身に付ける ・個性豊かな歌唱表現を創意工夫する ・日本語の特性を考慮して歌唱表現することに主体的に取り組む	からたちの花	
	4	手本の唱歌をよく聴いてまねして覚え、篠笛の演奏に生かそう	篠笛の唱歌をよく聴いてまねして覚えることで、旋律やリズムの雰囲気を感じ取って曲にふさわしい奏法を身に付け、さらに手拍子や足踏みの唱歌も加えて、個性豊かな器楽表現を創意工夫する	・唱歌から曲の雰囲気を理解し、曲にふさわしい奏法を身に付ける ・個性豊かな器楽表現を創意工夫する ・唱歌を通して篠笛のよさを感じ取りながら器楽表現することに主体的に取り組む	鼓動の舞 秋の宵	
	6	平家の語りに挑戦し、平家の特徴を感じ取ろう	琵琶の伴奏で語る音楽作品である平家の語りに挑戦することで、日本音楽の特徴について理解を深める	・日本の伝統音楽の特徴を理解して、平家の曲節のうち口説と中音の模範演奏を聴いて語りのまねをする ・平家の音楽表現の共通性と固有性を考える	平家 日本の伝統音楽	
	4	言葉の美しい響きを感じながら、拍の流れにのって歌おう	イタリア語の発音や曲にふさわしい発声とともに、8分の6拍子特有のリズムを意識して個性豊かな歌唱表現を創意工夫する	・イタリア語の発音とベルカント唱法を身に付ける ・8分の6拍子特有のリズムを意識して個性豊かな歌唱表現を創意工夫する ・イタリア語の特性とそれにふさわしい発声、8分の6拍子の歌唱表現に主体的に取り組む	うつろの心 愛の喜び イタリア語の発音	
	4	ギターのおもちゃな奏法を学び、曲の雰囲気に合った表現を工夫しよう	《Stand By Me》で用いられているコードをギターで弾き、ストロークとリズムの関係を学んで、ギターアンサンブルや弾き語りで、個性豊かな器楽表現を創意工夫する	・ギターでG、Em、C、D7のコードのポジションを覚え、ストロークでリズムをつくる ・ギターアンサンブルや英語歌詞の弾き語りで、個性豊かな表現を創意工夫する ・楽しみながら、ギターアンサンブルや弾き語りの表現に主体的に取り組む	Stand By Me	
	9 10 11 12	4	曲の構成やドイツ語の歌詞の内容を理解して、曲想に適した表現を工夫しよう	曲想の異なる2つのドイツ語の曲を、それぞれの特徴を把握しながら効果的に歌い分け、2つの曲の個性豊かな歌唱表現を創意工夫する	・歌詞の内容を理解し、ドイツ語の発音や特有の発声を身に付ける ・それぞれの曲想にふさわしい個性豊かな歌唱表現を創意工夫する	君はまるで花のよう おれは鳥刺し ドイツ語の発音
2		オペラ《魔笛》の歴史的背景を理解し、オペラの魅力を感じ取ろう	オペラ《魔笛》において、メルヘンの要素と歴史的背景として啓蒙主義の思想が表れていることを理解し、この作品のよさや美しさを味わって聴く	・オペラ歌手の技量が発揮されるアリアやユーモラスで幸福感にあふれる二重唱を聴いて、そのよさや美しさを味わう ・メルヘンオペラとしての《魔笛》の内容や登場人物と音楽との関係を理解するとともに、歴史的背景として啓蒙主義がこの作品に与えた影響を理解して聴く	オペラ《魔笛》 音楽って何だろう?②社会の大きな変革と音楽家～モーツァルトの場合～	
4		各パートの役割を理解して、バンド演奏を楽しもう	バンドの各パートの役割やリズム、旋律の特徴を理解して、表現上の効果を生かしてバンド演奏を楽しむ	・ピアノパートの弾き方を身に付けたり、ギターやタブ譜の読み方を理解したりして、各パートの役割を理解する ・バンド演奏でのバランスのよい響きを実現する技能やバンド演奏の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能を身に付ける ・個性豊かなバンド演奏での器楽表現を創意工夫する	ばらの花	
2		ポピュラー音楽の魅力を探求しよう	ポピュラー音楽のメロディーやリズム、コード進行に注目して、自分の好きなポピュラー音楽の魅力に深く迫る	・使われている音階やメロディーのパターン、メロディーとコードの関係を理解する ・リズムの変化とそれに伴う雰囲気の変化、曲の構成との関係を理解する ・コード進行の特徴を理解する ・メロディー、リズム、コード進行などの視点から、自分の好きなポピュラー音楽の魅力を他者に説明する	音楽って何だろう?①ドクター・キャピタルによるポピュラー音楽探求	
6		個性豊かに表現を工夫しながら音楽をつくろう	朗読、演劇、映像などに、場面イメージに合ったサウンド系のBGMやメロディー系のBGMをつくって付ける	・音楽材、サウンドピース、メロディーの骨格を表したいイメージと関わらせて創作する ・さまざまな音楽材を重ねたり、音楽を形づくっている要素を変化させて変奏する ・個性豊かな創作表現を工夫してBGMをつくる	BGMをつくろう	
4		斬新なリズムと響きによる表現を感じ取ろう	ストラヴィンスキーのバレエ《春の祭典》にみられる新しい音楽表現を理解してその斬新さを味わうとともに、初演時の批評を読んで、当時の人々の反応について考える	・《春の祭典》の変拍子を想起させるようなアクセントの使い方や多調性を理解し味わう ・バレエの理解を深め、初演時の批評を通して、当時の人々の反応について考える	音楽史上の大事事件となった《春の祭典》 音楽史年表	
4		フランス語の歌詞の内容を理解して、曲想にふさわしい表現を工夫しよう	フランス語の発音や曲にふさわしい発声とともに、フランス語の押韻を意識して、個性豊かな歌唱表現を創意工夫する	・フランス語の発音や特有の発声を身に付け、歌詞の押韻について理解を深める ・個性豊かな歌唱表現を創意工夫する ・フランス語の特性を理解し、曲にふさわしい発声や歌唱表現に主体的に取り組む	ロウ人形 夢のあとに フランス語の発音	
2		日本各地の民俗芸能の特徴を理解し、その魅力を味わおう	日本各地の地域社会の中で伝承される民俗芸能の特色を理解し、それぞれのよさや地域にわたる意味や価値を考える	・民俗芸能と民謡との違いを理解する ・各地の民俗芸能の特色を理解する ・住んでいる地域の民俗芸能を調べてその魅力を他者に伝える	日本各地の伝統音楽	
1 2 3		2	能の謡に挑戦し、能の特徴を感じ取ろう	能の様式を理解し、《羽衣》の謡に挑戦することで、日本音楽の特徴について理解を深める	・日本の伝統音楽の特徴を理解して、《羽衣》の謡の模範演奏を聴いてまねをする ・能の音楽表現の共通性と固有性を考える	能 日本の伝統音楽
		2	地域の風土や生活、文化や伝統と、それが育んだ音楽との関わりを理解し、音楽的視野を広げよう	カメルーンの音楽を、この地域の風土や生活、文化や伝統といった地理的・社会的背景を通して理解することにより、音楽的視野を広げる	・音楽を文化の一部として捉え、さまざまな文化との相互関係を地理的・社会的背景を通して理解する ・さまざまな未知の音楽文化に対する理解を深めることができるよう、音楽的視野を広げることにより主体的に取り組む	音楽旅行記 世界をめぐる! アフリカ音楽のDNA～カメルーン～
	2	同じ物語を題材とした芸能の特徴を理解しよう	「ラーマ物語」を題材としたさまざまな芸能の特徴を理解するとともに、さまざまな音階の種類とその特徴を理解する	・東南アジアから南アジアにかけての芸能で取り上げられることの多い「ラーマ物語」の内容を理解する ・「ラーマ物語」を題材とする各地域の芸能の音楽表現の共通性と固有性を考える ・用いる楽器や衣装、舞踊などと音楽との関わり合いに注目しながら、それぞれの音楽のよさや美しさを深く味わう	「ラーマ物語」を題材とした芸能 音楽って何だろう?④音階	
	3	作曲当時の社会背景を理解して、ギター表現を工夫しよう	タブ譜で、コード、ベースライン、メロディーを弾けるようになり、合奏や弾き語りなどで、作曲の背景を理解して曲の雰囲気や合った表現を創意工夫するとともに、音律についての理解を深める	・歌詞の内容を理解し、タブ譜でコード、ベースライン、メロディーをギターで演奏する ・作曲の背景を理解して曲の雰囲気に合った表現を創意工夫する ・ギターや音律の学習に主体的に取り組む	Blackbird 音楽って何だろう?③音律	
	5	各声部の動きを聴き合って、美しい響きを意識しながら合唱を楽しもう	各声部の役割、和声的・対位的な動きに注意して、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、個性豊かな合唱表現を創意工夫する	・曲想と歌詞の内容を理解し、曲にふさわしい発声や他者との調和を意識して歌う技能を身に付ける ・テクスチャの変化を考えて、個性豊かな合唱表現を創意工夫する ・物語性のある歌詞や他者との調和を意識して、楽しみながら合唱することに主体的に取り組む	流浪の民	
	2	オペラ《フィガロの結婚》の歴史的背景を理解し、オペラの魅力を感じ取ろう	オペラ《フィガロの結婚》の台本における貴族社会への批判と、フランス革命間際の当時の社会背景を理解し、モーツァルトがこの作品で実現した音楽表現を味わって聴く	・六重唱や最後のシーンを聴いてそのよさや美しさを味わう ・オペラ《フィガロの結婚》の内容や登場人物と音楽との関係、フランス革命が迫る当時の社会背景などを理解して、このオペラの意味や価値を味わって聴く	オペラ《フィガロの結婚》 音楽って何だろう?②社会の大きな変革と音楽家～モーツァルトの場合～	

主な学習活動	学習指導要領の内容														内容の取扱い									
	A表現						B鑑賞				[共通事項]													
	(1)歌唱			(2)器楽			(3)創作			(1)鑑賞				音楽を形づくっている要素										
	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ		ウ	音色	リズム	速度	旋律	テクニクス	強弱	形式	構成
・歌詞に込められているメッセージを正しく理解する ・発声の基本を振り返る ・曲にふさわしい歌い方や表現を考える ・著作権を理解する	○	○	○	○	○	○																		(1) (2) (4)
・作曲者の指示の意図を理解し、歌詞の内容を理解する ・日本語の発音を生かした発声を身に付ける ・曲にふさわしい歌い方や表現を考える	○	○	○	○	○	○																		(1) (2) (4)
・篠笛や手拍子や足踏みの唱歌を理解する ・篠笛を吹く技能を身に付ける							○	○	○		○	○	○											(1) (2) (4)
・日本の伝統音楽の特徴を理解する ・平家の曲節から口説と中音を語る ・平家における琵琶と語りの関係を考える														○	○	○	○	○						(1) (2) (3) (4)
・イタリア語の発音とベルカント唱法を理解する ・8分の6拍子を理解する	○	○	○	○	○	○																		(1) (2) (4)
・コードのポジションを覚える ・ベースラインとメロディーのポジションを覚える ・ギターアンサンブルや弾き語りをする							○	○	○	○	○	○	○											(1) (2) (4)
・ドイツ語の発音と発声を身に付けてリートやオペラのアリアを歌う ・ドイツ語の歌詞の内容及び韻律と旋律の関係を理解する ・曲にふさわしい歌い方や表現を考える	○	○	○	○	○	○																		(1) (2) (4)
・メルヘンオペラとしての《魔笛》のあらすじを理解する ・歴史的背景としての啓蒙主義やモーツァルトの生きた時代を理解する ・さまざまな性格をもったアリアや二重唱を鑑賞する														○	○	○	○	○						(1) (2) (3) (4)
・ピアノパートの弾き方やギターのカポタールの読み方を理解する ・各パートをよく聴き合って、バンド演奏での音量バランスを考える ・バンドならではの表現上の効果を生かして演奏する							○		○	○	○	○	○											(1) (2) (4)
・メロディーの特徴を理解する ・リズムの特徴を理解する ・コード進行の特徴を理解する ・自分の好きなポピュラー音楽の魅力を他者に紹介する														○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(1) (2) (3) (4)
・朗読、演劇、映像などからBGMを付ける対象を選び、どの場面のBGMをつくるかを決める ・サウンド系のBGMもしくはメロディー系のBGMをつくる ・つくったBGMを発表し、意見交換する																								(1) (2) (4)
・バレー音楽について理解する ・〈春の兆し〜乙女たちの踊り〉冒頭部分のリズムと和音を理解する ・4分の2拍子を意識しながら不規則に付けられたアクセントの効果を考えて冒頭のリズムを演奏する ・E♭とEの和音を同時に演奏して、その響きを感じ取る														○	○	○	○	○	○	○				(1) (2) (3) (4)
・フランス語の発音と発声を身に付けてシャンソンやメロディを歌う ・フランス語の歌詞の内容及び韻律を理解する ・曲にふさわしい歌い方や表現を考える	○	○	○	○	○	○																		(1) (2) (4)
・民俗芸能と民謡の違いを理解する ・各地の民俗芸能の特色を知る ・住んでいる地域の民俗芸能を調べ、その魅力を発表する														○	○	○	○	○						(1) (2) (3) (4)
・ツヨ吟とヨフ吟を理解する ・《羽衣》の謡を模範演奏をまねて謡う														○	○	○	○	○						(1) (2) (3) (4)
・音楽と関わるさまざまな文化を理解し、その相互関係の中で音楽が成り立っていることを理解する														○	○	○	○	○						(1) (2) (3) (4)
・「ラーマ物語」の内容を知る ・各地域の「ラーマ物語」を題材にした芸能の音楽的特徴や、楽器、衣装、舞踊などと音楽との関わりを理解する ・さまざまな音階の種類とその特徴を理解する														○	○	○	○	○						(1) (2) (3) (4)
・タブ譜の読み方を理解する ・コード、ベースライン、メロディーのポジションを覚える ・歌詞の内容を理解する ・曲にふさわしいギターの奏法を身に付ける ・音律について理解を深める							○	○	○		○	○												(1) (2) (4)
・歌詞の内容や、合唱ならではの他声部との関係理解して歌う ・各声部の役割やテクスチュアの変化を考えて合唱表現を創意工夫する	○	○	○	○	○	○																		(1) (2) (4)
・オペラ《フィガロの結婚》のあらすじを理解する ・モーツァルトの時代の貴族批判や社会不安を理解する ・さまざまな性格をもった六重唱や最後のシーンを鑑賞する														○	○	○	○	○						(1) (2) (3) (4)

指導書について

※ここに掲載した情報は平成30年度版『高校生の音楽2 指導書』をもとにしています。内容、デザインなどは変更する場合がありますのでご了承ください。

■セット内容 B5判セットケース入、定価未定

1
研究資料編

2
楽譜資料編

3
指導用・鑑賞用CD

1 研究資料編

年間指導計画例、学習指導案例、授業を多角的にサポートする解説・資料、授業に役立つワークシートを掲載しています。

◆解説・資料の例



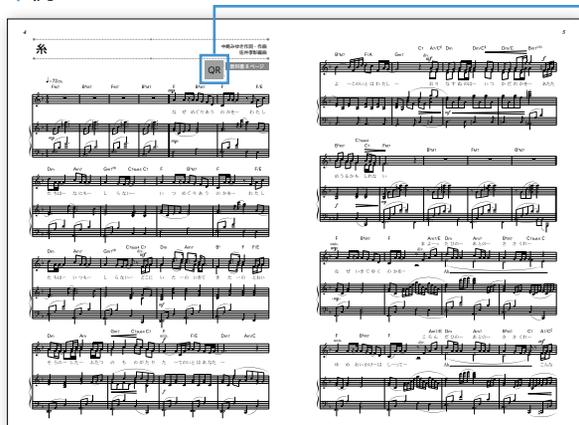
◆ワークシートの例



2 楽譜資料編

歌唱教材の伴奏譜の他、簡易伴奏譜、移調譜、教科書の編成とは別の編曲なども掲載しています。

◆例



QRコードから伴奏音源にアクセスできます。
移調音源も収録しています。

3 指導用・鑑賞用CD

主な歌唱教材の範唱、参考演奏、原語歌詞の朗読、器楽教材の範奏、鑑賞教材を教科書の目次順に掲載しています。

検討の観点別にみた特色

	観点	教科書の特徴
範囲	<ul style="list-style-type: none"> ●取り扱う内容の範囲は、学習指導要領の目標及び内容によっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●多様なジャンルから精選された教材によって必要な内容が十分に扱われており、音楽科の目標を達成するという観点から極めて適切なものとなっている。
程度	<ul style="list-style-type: none"> ●教材は、生徒の心身の発達段階や能力の実態に適切しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●歌唱教材においては生徒の心情的な発達段階に応じた楽曲を、器楽教材においては技術的に平易な楽曲を取り上げている。創作教材においては、生徒が取り組みやすい内容で、具体的な手順を示している。また、鑑賞教材においては着眼点を明確に示すなど、生徒の能力の実態に即した適切な内容になっている。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ●教材の選択及び扱いは、学習指導を進めるうえで適切であるか。 ●三つの柱を踏まえて、基礎的・基本的な学力の定着について適切な配慮がなされているか。 ●説明文やイラスト、写真などは、学習指導を進めるうえで適切であるか。 ●「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、配慮や取り組みはなされているか。 ●我が国や郷土の伝統音楽及び音楽文化に対する配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●明確な学習の観点のもと、幅広く変化に富んだ学習活動を行うことのできる教材が用意されており、生徒が、自ら個性豊かにさまざまな音楽表現を創意工夫することができ、音楽の多様性を理解し、音楽的な見方・考え方を身に付けて、音楽のよさや美しさを味わい、音楽文化に親しむ態度を養うことができるよう配慮されている。 ●教材の内容は、三つの柱(「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」)と相互に関連付けられており、さまざまな参考資料を収録するとともに、基礎的・基本的な内容を学習できるよう工夫されている。また、鑑賞においては楽曲の構成や文化的・歴史的背景が分かりやすく解説されており、確実に学習活動が進められるように配慮されている。 ●説明文は平易な言葉で書かれており、その配置も工夫されている。 ●イラストや写真の取り上げ方はアイディアにあふれ、音楽的な見方・考え方の育成や知的理解の深化に配慮されている。 ●教材には、表現する際のポイントや、音楽の背景にある社会や文化について分かりやすく説明したコラムが設けられており、表現の工夫や音楽理解を促すとともに、興味・関心を引き出し、「主体的・対話的で深い学び」の学習活動に取り組みやすいよう工夫がなされている。 ●創作活動においては、生徒の能力に応じて弾力的な指導を進められるよう配慮されている。 ●小学校、中学校における「音楽づくり」「創作」の学習内容や、学習指導要領に示された指導事項を踏まえながら、時間的、能力的に無理なく取り組める教材が、具体的な手順を示して取り上げられている。 ●歌唱教材においては、古くから歌い継がれている曲を複数取り上げ、器楽教材においては楽器の奏法などについて唱歌を伴って分かりやすく解説している。また、鑑賞教材においては語りや謡を中心とした日本の伝統音楽や各地の民俗芸能などを取り上げており、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成できるよう配慮されている。
構成	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校、中学校における学習内容との系統性、一貫性について配慮されているか。 ●各学校や生徒の実態に応じた学習指導計画を立てるための配慮がなされているか。 ●教材の配列は適切であるか。 ●教材の分量は適切であるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校、中学校の義務教育における音楽科の目標、ならびに音楽Ⅰの目標を継承し、発展した内容の教科書となっている。 ●歌い継いでいきたい日本の歌が、小学校、中学校から一貫して取り上げられている。 ●芸術歌曲やクラシック音楽だけでなく、ポピュラー音楽やミュージカル、民族音楽などさまざまなジャンルの音楽を教材として取り上げており、学習の深化や相互の関連付けを容易に行うことができ、各学校や生徒の実態に応じた柔軟な学習指導計画を立てられるよう配慮されている。 ●各教材の冒頭ページに縦書きで示された学習目標に基づいて、教材が系統的・発展的に配置されており、確実に学習を進められるよう配慮されている。 ●領域や分野ごとに平易な曲を中心として教材が配列されており、学習の理解や深化を図りやすいよう配慮されている。 ●精選された教材が過不足ない分量で扱われており、各学校や生徒の実態に応じて柔軟に対応できるよう配慮されている。
人権	<ul style="list-style-type: none"> ●国際理解、情報、環境、人権教育などに配慮されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●全体を通して、人権教育について適切に配慮されている。また、歌唱教材や鑑賞教材においても、諸外国の音楽文化に対する理解を深めることができるよう配慮されている。 ●音楽に関する知的財産権については、「音楽に関する知的財産権＝著作権」と題し、分かりやすく解説されている。
体裁	<ul style="list-style-type: none"> ●全体の体裁は教科書として適切であるか。 ●印刷・製本などは適切であるか。 ●ユニバーサルデザインへの配慮がなされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●A4変型判で楽譜が見やすく、紙面のレイアウトも統一感があり、教科書として適切なものとなっている。 ●教科書の内容をイラストで表現した表紙からも高校生に向けてのメッセージが感じられるよう工夫されており、音楽に親しみやすい体裁となっている。 ●カラーページとモノクロページに分かれたすっきりした紙面であるとともに、楽譜、文字、イラスト、写真などの印刷の発色もよく、鮮明なものとなっている。 ●製本は長期の使用に十分耐える堅牢なものとなっている。 ●再生紙を使用し、リサイクル可能な表紙加工を施すなど、環境にも十分な配慮がなされている。 ●全体に区別しやすい配色を用いながら、学習上の必要に応じて形状や濃度を違えるなど、確実に識別できるよう配慮されている。
総合所見	<p>多様な音楽文化についての理解を深め、音楽的感性を育むために適切な教材が精選されている。確実に学習を進められるよう、各教材に示された題材名に基づいて、系統的・発展的に教材が配置されている。主体的な学習活動を促すために、生徒が自ら手を動かして行う活動が随所に配置され、音楽的学びを深められるよう配慮されている。QRコードによって、楽器の演奏方法や、外国語歌曲の歌詞の発音などを聴いたり見たりでき、自宅での予習や復習も効果的に行うことが可能となっている。</p>	

「高校生の音楽②」執筆者

【監修】

小原光一(元横浜国立大学教授)

【監修・執筆】

久保田慶一(元東京学芸大学・国立音楽大学教授)

【執筆・編集】

小沼純一(早稲田大学教授)

薦田治子(武蔵野音楽大学教授)

田中多佳子(京都教育大学教授)

鹿谷美緒子(作曲家)

長谷部匡俊(作曲家)

佐井孝彰(作曲家)

三宅悠太(作曲家)

【編集協力】

太田暁子(東京音楽大学講師)

梶井龍太郎(東海大学教授)

加藤浩子(音楽評論)

川本聡胤(フェリス女学院大学准教授)

岸田 繁(京都精華大学特任准教授)

白石美雪(武蔵野美術大学教授)

島添貴美子(富山大学教授)

関根敏子(音楽学)

高桑いづみ(東京文化財研究所特任研究員)

滝口幸子(城西国際大学准教授)

田村史子(元筑紫女学園大学准教授)

菅木宏幸(ギター)

辻 康介(声楽)

ドクター・キャピタル(北テキサス大学准教授)

中村仁美(雅楽 箏楽)

西川浩平(洗足学園大学専任講師)

野川美穂子(東京芸術大学講師)

Pasinee Sakulsurarat(作曲家)

矢野原佑史(京都大学アフリカ地域研究資料センター科研研究員)

吉澤 実(リコーダー)

第1表

高等学校用教科書需要票

見本

発行者	番号	27	略称	教芸	需要数	生徒用	150	冊
						教員用	2	冊
教科書	記号	音II	番号	702		計	152	冊
	書名	高校生の音楽 2						

所在地

学校名

電話

(全日制・定時制・通信制)

別売 映像資料 価格各19,800円(本体18,000円+税10%)

教科書に掲載されている「日本の伝統音楽」及び「世界の諸民族の音楽」の授業の参考となる資料を販売しています。

音楽鑑賞DVD

日本の伝統芸能編

- DVD 1枚/収録時間126分
- 雅楽、琵琶楽、能楽、文楽、歌舞伎から14演目(曲)を収録

高等学校音楽鑑賞DVD

民族編

- DVD 1枚/収録時間146分
- 38か国、59曲を収録
- 民族音楽研究家、江波戸昭先生の解説付き

音楽鑑賞Blu-ray Disc

世界の民族音楽

- Blu-ray 1枚/収録時間202分
- 49か国、86曲を収録
- 全ての映像について、研究者によるライナーノーツ付き

KG 教育芸術社

- 本社 〒171-0051 東京都豊島区長崎1-12-14 TEL. 03-3957-1175(代)
- 中部支社 〒460-0024 名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル8F TEL. 052-678-3151(代)
- 関西支社 〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央1-14-17-601 TEL. 06-6943-7245(代)
- 西部支社 〒751-0808 下関市一の宮本町2-7-14 TEL. 083-256-4747(代)

ホームページ・アドレス <https://www.kyogei.co.jp/>